

第93期 事業報告書

2022年4月1日～2023年3月31日

株式会社 BSNメディアホールディングス

証券コード：9408 東証スタンダード
(旧社名 株式会社新潟放送)



6月1日 BSNメディアホールディングス発足

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より当社事業につき格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

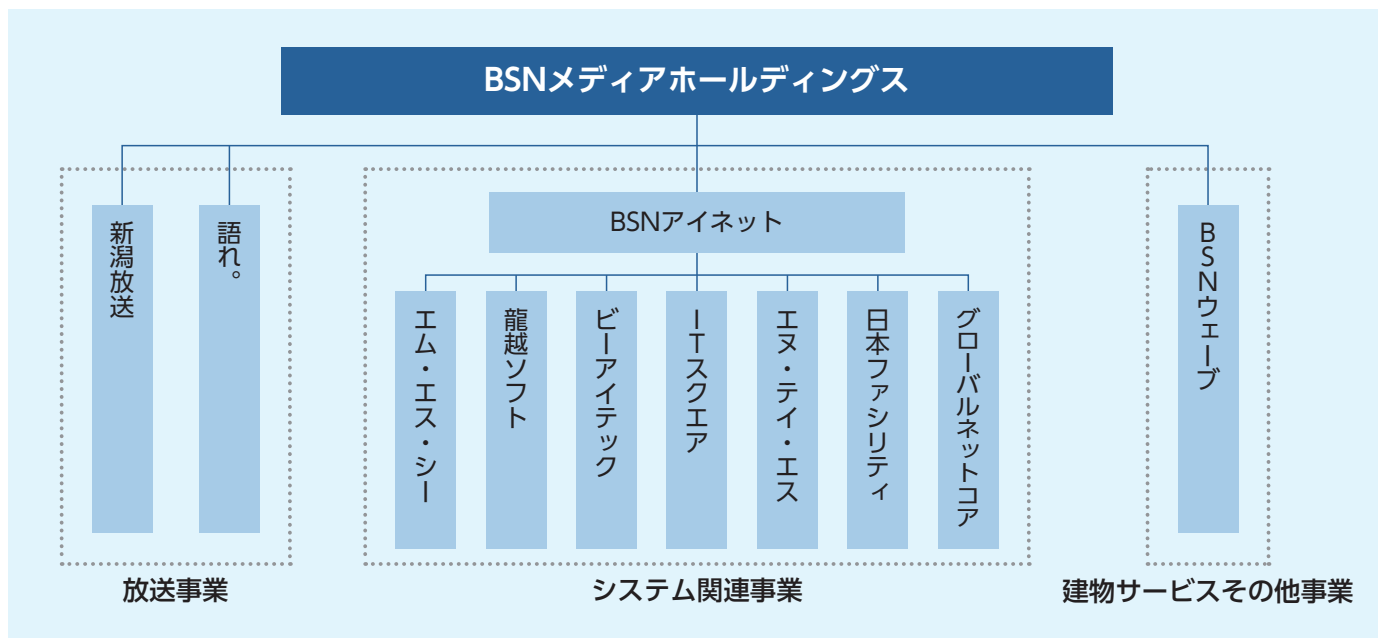
当社は本年6月1日をもって、グループの経営管理を行う認定放送持株会社「BSNメディアホールディングス」と放送事業を行う「新潟放送」（BSNメディアホールディングスの完全子会社）に再編されました。持株会社体制への移行によってグループ全体のガバナンスの強化を図り、地域課題の解決に寄与するソリューション企業グループへ成長していきたいと考えております。

なお、期末配当につきましては、1株につき3円75銭の普通配当と開局70周年の記念配当1円25銭を合わせて5円とさせていただきます。

新体制のもと、グループの全役員ならびに従業員一同、新たな気持ちで職務に励んでまいります。引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
佐藤 隆夫



事業概況

放送事業

放送事業におきましては、世界情勢の不安と物価上昇が影響し、スポンサーの広告活動が鈍り、ラジオ・テレビとも収入は前期に及びませんでした。BSNラジオのradiko（ラジオ放送がスマートフォン等で聴けるサービス）の1か月の再生回数は150万回を超えて前年度比で1.5倍、一昨年度比で4倍超となり、全国のラジオ局の中でも顕著な伸びを示しました。テレビの自社制作番組では、土曜お昼のレギュラー番組「土曜ランチTVなじらテ。」（土曜午後0時10分～午後2時）で、視聴者との双方向性を意識した視聴者投票によるランキング企画が好評を博しています。番組の視聴率は2022年度同時時間帯1位を獲得しました。70周年の特別企画「#ユメファクトリー」では視聴者から叶えたい夢を募集して、テレビ番組やラジオ番組で1年にわたって70の夢を応援しました。放送以外では、開局70周年を記念する事業が目白押しでした。夏休みに朱鷺メッセで開催した「ジュラシック大恐竜展2022」は学びとエンターテインメントの要素をミックスしたコンテンツが大ヒット。親子連れを中心に総計75,000人を超える入場者で賑わいました。感染症による入場制限が徐々に緩和され、集客は概ね好調に推移しました。

この結果、当連結会計年度における売上高は57億5千1百万円（前期比0.4%減）となり、営業利益は2億4千2百万円（前期比13.3%減）となりました。

システム関連事業

システム関連事業におきましては、デジタル革新のスピードが加速する中、信頼される技術集団として、ICTや情報の力でさらなるつながりや新しい価値創造をもたらし、社会やお客様と価値共創型企業を目指しています。期中におきましては、首都圏開発案件や公共分野における制度改正・法改正案件を順調に受注いたしました。また、重要な子会社として、システム関連事業に1社が追加となったことで売上、利益ともに前期を上回る結果となりました。

この結果、当連結会計年度における売上高は162億7千8百万円（前期比13.5%増）となり、営業利益は13億6千万円（前期比36.9%増）となりました。

建物サービスその他事業

建物サービスその他事業におきましては、不動産管理から電気・空調などの施設管理、ライブ配信などのメディア広告関連など幅広い事業を展開しています。期中におきましては、不動産収入で、新たに取得した収益物件により増収となりました。施設管理部門では、事務所ビルの契約変更による減収要因はありましたが、新たに総合病院や事務所ビルの管理業務を受託したことや、管理受託先の空調設備更新工事などの大型案件を受注して増収となりました。利益面では、仕入れ原価の増加や人件費などの増加はありましたが、効率良く業務を行うことで社内コストの削減を図り利益確保に努めました。

この結果、当連結会計年度における売上高は16億8千1百万円（前期比11.5%増）となり、営業利益は7千5百万円（前期比12.2%増）となりました。



土曜ランチTVなじらテ。



#ユメファクトリー 総集編



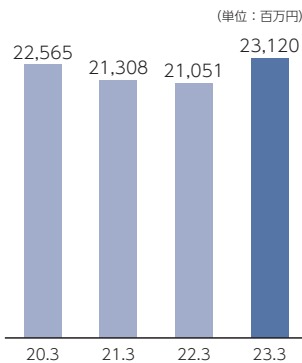
㈱BSNアイネット オンラインイベント



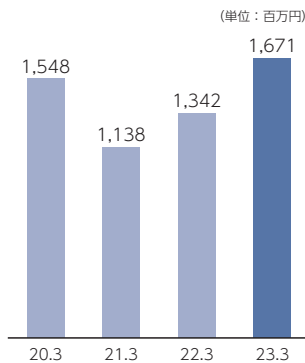
㈱BSNウェーブ 施設管理

B S Nメディアホールディングス 連結財務ハイライト 第93期

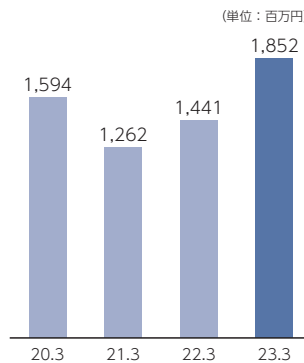
売上高 23,120百万円
(前期比 9.8%増)



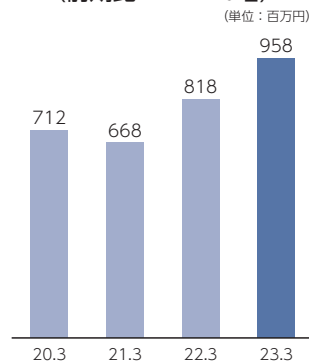
営業利益 1,671百万円
(前期比 24.5%増)



経常利益 1,852百万円
(前期比 28.5%増)



親会社株主に帰属する
当期純利益 958百万円
(前期比 17.1%増)



財務概要

■ 連結貸借対照表 ■ (単位：千円)

| 科目 | 前期末 2022年3月31日 | 当期末 2023年3月31日 |
|----------------|-------------------|-------------------|
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 13,561,271 | 14,724,043 |
| 固定資産 | 12,734,701 | 13,038,354 |
| 有形固定資産 | 6,650,715 | 7,042,597 |
| 無形固定資産 | 389,960 | 327,550 |
| 投資その他の資産 | 5,694,025 | 5,668,206 |
| 資産合計 | 26,295,972 | 27,762,397 |
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 4,927,136 | 4,909,932 |
| 固定負債 | 1,094,680 | 1,206,765 |
| 負債合計 | 6,021,816 | 6,116,697 |
| (純資産の部) | | |
| 株主資本 | 17,487,642 | 18,527,517 |
| 資本金 | 300,000 | 300,000 |
| 資本剰余金 | 5,750 | 5,750 |
| 利益剰余金 | 17,182,696 | 18,222,571 |
| 自己株式 | △805 | △805 |
| その他の包括利益累計額 | 310,717 | 314,793 |
| 非支配株主持分 | 2,475,795 | 2,803,389 |
| 純資産合計 | 20,274,155 | 21,645,700 |
| 負債・純資産合計 | 26,295,972 | 27,762,397 |

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 ■ (単位：百万円)

| 科目 | 前期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで | 当期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで |
|----------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,566 | 1,730 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △368 | △1,334 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △462 | △342 |
| 現金及び現金同等物の増加額 | 1,734 | 54 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 6,641 | 8,376 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | — | 202 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 8,376 | 8,634 |

■ 連結損益計算書 ■ (単位：千円)

| 科目 | 前期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで | 当期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで |
|-----------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 売上高 | 21,051,059 | 23,120,244 |
| 売上原価 | 14,934,433 | 16,505,357 |
| 売上総利益 | 6,116,625 | 6,614,886 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,774,326 | 4,943,688 |
| 営業利益 | 1,342,298 | 1,671,197 |
| 営業外収益 | 126,204 | 213,361 |
| 営業外費用 | 26,827 | 32,424 |
| 経常利益 | 1,441,675 | 1,852,135 |
| 特別利益 | 260,000 | 100,466 |
| 特別損失 | 58,238 | 48,675 |
| 税金等調整前当期純利益 | 1,643,436 | 1,903,926 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 406,349 | 566,128 |
| 法人税等調整額 | 178,685 | 39,260 |
| 当期純利益 | 1,058,401 | 1,298,537 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 240,094 | 340,163 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 818,306 | 958,373 |

■ 新潟放送ハイライト ■

(単位：百万円)

| 科目 | 前期末 2022年3月31日 | 当期末 2023年3月31日 |
|-----|-------------------|-------------------|
| 総資産 | 13,942 | 14,118 |
| 純資産 | 12,391 | 12,765 |

| 科目 | 前期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで | 当期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで |
|-------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 売上高 | 5,771 | 5,751 |
| 営業利益 | 280 | 242 |
| 経常利益 | 385 | 452 |
| 当期純利益 | 355 | 320 |

会社概要 (2023年6月22日現在)

| | |
|-----|--|
| 社名 | 株式会社BSNメディアホールディングス BSN MEDIA HOLDINGS,INC. |
| 創立 | 1952年10月 |
| 資本金 | 3億円 |
| 所在地 | 新潟市中央区川岸町3丁目18番地 |
| 事業 | 放送法による基幹放送事業及び一般放送事業 美術、音楽、スポーツの企画、製作、販売 テレビ、インターネット等広告代理店業務 コンピューターに関するソフトウェア開発 労働者派遣業務、保険代理店業務 建物設備の電気工事・管工事の設計施工 |

株式の概況 (2023年3月31日現在)

- ◆ 発行可能株式総数 10,000,000 株
- ◆ 発行済株式総数 6,000,000 株
(自己株式1,102株を含む)
- ◆ 株主数 855 名
- ◆ 大株主

| 株主名 | 所有株式数 | 持株比率 |
|----------------------|-----------|--------|
| 株式会社新潟日報社 | 852,800 株 | 14.2 % |
| 越後交通株式会社 | 579,050 | 9.6 |
| 株式会社TBSホールディングス | 485,000 | 8.0 |
| 光通信株式会社 | 449,200 | 7.4 |
| 株式会社第四北越銀行 | 289,600 | 4.8 |
| 第四北越リース株式会社 | 256,500 | 4.2 |
| 学校法人国際総合学園 | 184,400 | 3.0 |
| サトウ食品株式会社 | 136,000 | 2.2 |
| 株式会社エスアイエル | 125,400 | 2.0 |
| ROYAL BANK OF CANADA | 120,000 | 2.0 |

※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

BSNHD役員 (2023年6月22日現在)

| | |
|---------|-------|
| 取締役会長 | 梅津 雅之 |
| 代表取締役社長 | 佐藤 隆夫 |
| 専務取締役 | 島田 好久 |
| 取締役 | 南雲 俊尊 |
| 取締役 | 宮腰 史明 |
| 取締役 | 佐藤 道喜 |
| 取締役 | 殖島 郎広 |
| 取締役 | 山井 太志 |
| 監査役(常勤) | 小原 弘敏 |
| 監査役 | 小田 三平 |
| 監査役 | 瀬田 賀晋 |
| 監査役 | 和 田 晋 |

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
剰余金の配当 毎年3月31日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対しお支払いいたします。
中間配当 取締役会の決議によって、中間配当を実施する場合は、毎年9月30日最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対しお支払いいたします。
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
単元株数 100株
◆お問合せ先 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
みずほ信託銀行証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324

◆重要な子会社の状況

| 会社名 | 資本金 | 出資比率 | 主要な事業内容 |
|-------------|-----|-------|-------------------------------------|
| | 百万円 | % | |
| (株)新潟放送 | 100 | 100.0 | 放送法による基幹放送事業 |
| (株)BSNウェブ | 85 | 100.0 | 建物管理及び不動産業 |
| (株)BSNアイネット | 200 | 65.5 | システムインテグレーション等 ITソリューション関連事業 |
| (株)ビーアイテック | 50 | 65.5 | ITインフラ環境の総合サービス IT運用サポート・保守サービス |
| (株)ITスクエア | 80 | 56.3 | コンピューターシステムの企画 経営合理化等に関するコンサルタント |
| (株)エム・エス・シー | 50 | 65.5 | 医療保険請求事務等の受託 及び派遣 |

トピックス

BSNラジオFMエリア広がる

総務省「民放ラジオ難聴解消支援事業」の補助金を活用し、FM補完中継局としてBSN大和FMとBSN糸魚川FMを開局した。大和FMは、2022年11月1日に開局。送信出力100W、周波数94.8MHz、放送区域内の世帯数55,481世帯。糸魚川FMは2022年12月1日に開局。送信出力100W、周波数94.8MHz、放送区域内の世帯数14,236世帯。

弥彦FM・高田FMに続き、大和FM・糸魚川FMの開局でFM放送の世帯カバー率は概ね94%を達成。今後、より多くのリスナーにFM放送のクリアな音声でBSNラジオを楽しんでいただきたい。



FM補完中継局 大和FM